

感動県政 あさのめ 新聞

埼玉県議会活動報告 2017.04.20 vol. 54

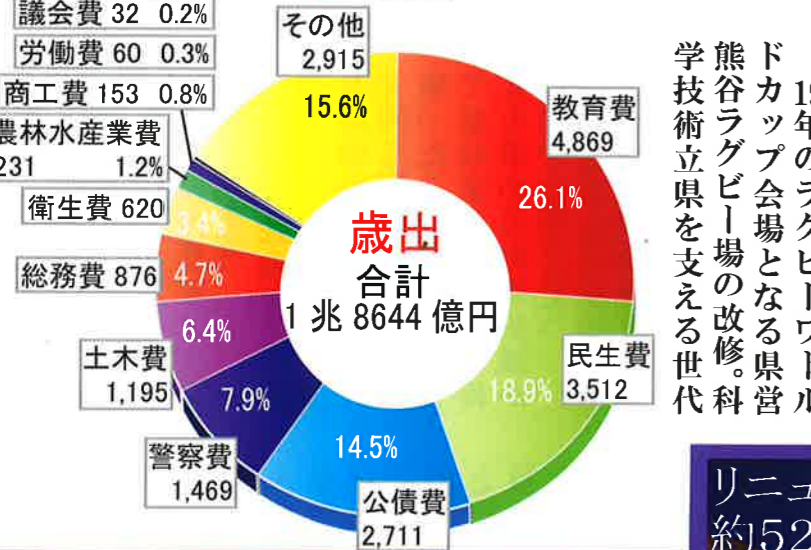
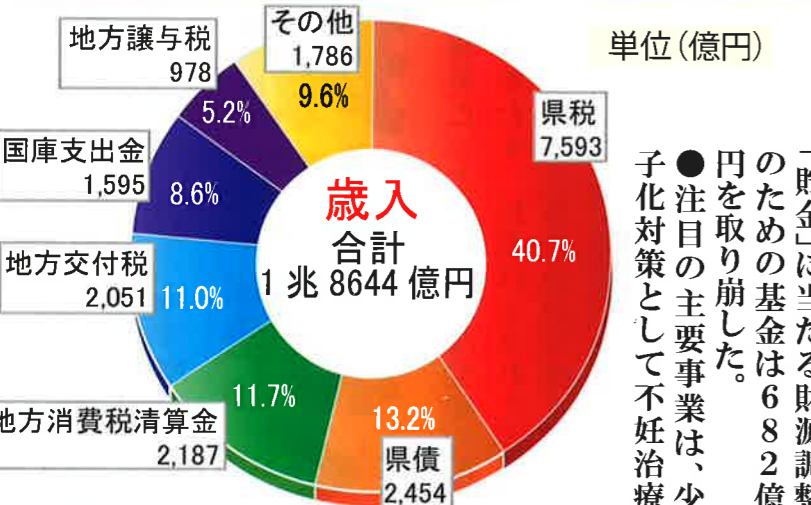
発行 埼玉県議会 民進党・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501

平成29(2017)年度埼玉県当初予算成立

2兆7371億円

未来への投資

一般会計1兆8644億円



●3月27日、平成29年度埼玉県予算が成立した。上田知事は「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現、「未来への投資」を重要施策に掲げた。「生産年齢人口が確実に減少し、経済が縮小する」との危機意識の下、人口構造変化への挑戦を強調した。「持続可能な強い埼玉を実現していく」との意識で予算は編成された。

●全会計合計約2兆7371億。一般会計総額は前年度比0.9%（161億円）減の約1兆8644億円。

●歳入は、県税が法人県民税と同事業税の法人2税の先行きが不透明で減収見込みとなり、前年度比0.6%減の7593億円。極めて苦しい財政運営となった。地方交付税が3.8%減の2051億円となり、県債は2.1%増の2454億円。うち臨時財政対策債は1342億円を計上した。「貯金」に当たる財源調整のための基金は682億円を取り崩した。

●注目の主要事業は、少子化対策として不妊治療

や検査の充実。多子世帯向けの施策や私立学校に通う生徒の父母の経済的負担を減らす補助にも力を入れる。高齢者の運転事故防止対策を強化。鉄道駅の事故防止に有効なホームドアの設置も進める。

●昨年の東松山市少年殺害事件を踏まえ、県立高校と地域若者サポートステーションが連携して若者の自立を支援するほか、「街の応援団」による非行防止パトロール活動にも取り組む。

●19年のラグビーワールドカップ会場となる県営熊谷ラグビー場の改修。科学技術立県を支える世代

リニューアルのご報告
約52億 埼玉会館の改修
撮影：小川重雄



▶埼玉会館は、日本近代建築をリードした前川國男氏（世界三大巨匠の一人、ル・コルビジエの直弟子）の設計により昭和38年に着工、昭和41年に開館。県の代表的な文化施設として名高く、浦和の誇りでもある。完成から50年を経て老朽化が著しかった。前川建築の特徴である外壁打込みタイルなどの特徴を生かし、文化施設の機能を維持するため、全体改修工事を実施した。4月からリニューアルオープンした。



人の輪の中へ 駅、式典、教室、会合



◀西アフリカのトーゴ共和国・セダミヌ大使と。



▲三神・さいたま市議事務所
で、インターンとして「18歳投票権」などを勉強中の3人の高校生と。(浦和駅東口)



浅野目義英（あさのめ・よしひで）プロフィール

昭和33年5月27日東京生。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。市議4期（25～41歳）。37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。予備校講師、鮎井屋でひたすらマグロを切る仕事、武正公一代議士政策秘書など、政治浪人7年余を経て、平成19年埼玉県議会議員トップで初当選。平成27年埼玉県議会議員トップで3期目当選。平成28年4月、埼玉県議会 民進党・無所属の会 代表に就任する。

自民県議団 上田知事へ不毛なバトル執拗に続く

知事選が近づくと「上田県政を弱体化させ自民候補を優勢に」と次のような党略の混乱が続いた。一昨年8月、自民候補は大敗。上田知事は4選を果たす。民意は示されたが自民の怨念は溶解しない。本会議場で質問する自民県議が知事を無視。予算委員会では4会派の抗議のなか要綱を変え知事発言を失わせた。「県議会は誰のものか」「不毛なケンカで県民置き去り」「知事の肉声聞き議論せよ」。県民の不満と疑問が巻き起こる。

もてあそばれる政治 埼玉県議会は誰のものか?

「新たな森」整備事業止める
みどりの少ない都市部で、新たな森公園を整備する事業。平成25年2月定例会で予算案を可決したが、突然同年9月定例会で、自民県議団が、「重大な瑕疵がある」として、「事業執行の停止を強く求める」と決議案を提出した。これにより、同事業は平成26年12月定例会で解除が決議されるまで、1年3ヶ月ストップした。

小児医療センター工事ストップさせる
県立小児医療センターをさいたま新都心へ移転させ新病院を整備する事業。平成26年2月定例会で「瑕疵がある」として、予算案に自民県議団が反対。同年4月臨時会で、再度知事が原案と同額の予算案を提出。自民今度は賛成。3週間、建設がストップした。



県立小児医療センター

教育基本計画空白生じさせる
平成26年度、30年度までの5年間の埼玉教育の基本目標と施策の体系を定めた計画。平成26年2月定例会で「慎重審議する必要がある」として、自民県議団が継続審査を求めた。同年6月定例会で、自民が修正案を提出して可決した。約3カ月の間、埼玉県の子どものための生きる力を導く同計画の空白が生じてしまった。

土地交換事業こちらにも吞め
さいたま市が進める大宮駅東口の公共施設再編に協力するため、埼玉県大宮合同庁舎敷地とさいたま市大宮区役所別館敷地を交換する事業。平成26年6月定例会で可決したが、自民県議団が推進する埼玉スタジアムへの新駅先行整備を前提とする地下鉄7号線延伸計画などを引っぱり出し、さいたま市議団に強引に同調を求めた。

平成28年度予算案を審議する際、特別委員会でも、自民県議団は知事の答弁機会を極端に減らす要綱改正(知事への質問時間は16時間半から2時間半に減少)を4会派の反対押しつけ強行する。「知事の意見を聞く機会を奪い、議論の不活性化を招く」と4会派は連名で抗議声明を出し、猛反発をした。有識者も「論戦減り監視機能鈍る恐れ」と批判した。



異常な事態 教育長不在

47都道府県で埼玉県だけ教育の空白懸念

●埼玉県議会2月定例会本会議で、新年度4月1日からの新しい埼玉県教育長に元文部科学省研究振興局長の小松弥生氏(58)を充てる人事案が上程された。しかし、「新教育長の職責は非常に重い。今回の定例会では小松弥生氏の資質や能力が十分かどうかを審議する時間がなかった」と自民は主張。本会議では、継続審査とすることが自民53名・公明9名などの賛成多数で3月27日、可決された。

●教育委員長と教育長を統合した新しいポストの教育長に、小松弥生氏が就任する見通しだったが、この採決結果で当面は「埼玉県の教育長は



つまり、教育委員会の責任体制を明確にするため、トップを新教育長に一元化したという首長が議会の同意を得た上で新教育

不在」という異常事態となった。2015年度に始まった改正地方教育行政法による新教育委員会制度見直しでは、教育長が従来の教育委員長の権限を併せ持つことになってい

教育長に代わって職務代理者が出席した会議	
4月3日(月)	教育局等新規採用職員辞令交付式
4月4日(火)	県立学校教員等新任式
4月12日(水)	埼玉県町村教育長会総会
4月14日(金)	埼玉県都市教育長協議会総会

育長を任命するという流れだ。小松弥生氏の人事案を今後は文教委員会に付託をし、審議は先延ばしされることが決められた。「定例会では審議する時間がなかった」との自民の主張だが、一か月ほど経った現在になっても文教委員会で審議は行われていない。教育長人事は、たなざらしとなっている。

●小松弥生氏は京都大学法学部卒業後、旧文部省入省。文科省幼児教育課長、文科省研究振興局長などを経て16年に退官した。

●埼玉県教育委員会によると、新制度では教育長が不在の時は、知事により教育委員の中から職務代理者が指名されるとなっている。現在仕事を「代打」している状況だ。右上の表のように、本来4月1日から教育長が出席して、埼玉県の教育行政の指針を語らなければならない仕事がいずれも「代打」でおこなわれている。



代表質問に立つ 2017年2月24日

浅野目は、民進党・無所属の会を代表して「代表質問」に立ちました。平成29年度埼玉県予算に対して、その編成の背景、哲学などを質しました。主な質問項目は次の通りです。

1. 埼玉県の「超高齢社会」突入への認識を問う
2. 高齢者の社会的孤立対策を急げ
3. 健康長寿埼玉プロジェクトの検証
4. 子供の貧困対策を真剣に取り組み
5. 保育人材確保の政策総動員せよ
6. 外国人児童生徒の孤立化防げ
7. 命を守るためホームドア設置急げ
8. さいたま新都心医療拠点の立ち上がり状況示せ
9. 先端産業創造プロジェクト進化させよ
10. 同一労働同一賃金の理念阻害するな
11. 不本意非正規雇用者の正規雇用化に向け積極的に取り組み
12. 圏央道開通を契機とし企業誘致を推進させよ



知事に答弁させない 全国唯一の県議会
平成27年、4選に打って出た上田知事が、自民推薦候補者を破り圧勝した。「ノーサイドでいく」と上田知事は融和姿勢を見せた。けれども自民県議団は「無視」を実行。本会議場で知事答弁を求めないという全国でも類例を見ない県議会の姿となった。

平成28年度予算案を審議する際、特別委員会でも、自民県議団は知事の答弁機会を極端に減らす要綱改正(知事への質問時間は16時間半から2時間半に減少)を4会派の反対押しつけ強行する。